

上智レンコン*ミーティング2016

「はたらく」ことの意味を考える

NPO法人フリースクール全国ネットワーク

事務局長：松島裕之（不登校経験者）

前提の共有（進学について）

- フリースクールは、主に学齢期の子どもの居場所。
入会・退会（卒業）のタイミングは人それぞれ。
- 高校進学・高校卒業のタイミングで退会する人がやや多い？
（個人の感覚、これまでに調査データ等はない）
- 小・中学生は学校に通わずとも卒業資格が得られる。
- 高卒資格は【通信制・定時制高校との併用】【高認】等の手段でフリースクールに居ながら得ていく人も多い。
- 大学進学に関しては、フリースクールと予備校の併用などが
必要になることも…
- H23「不登校に関する追跡調査（文科省）」によれば、
中学校までに不登校を経験した人の高校進学率は87.7%
大学、専門学校等への進学率は38.7%

前提の共有（就労について）

- フリースクールと同時に若者サポートステーション等の事業を行うNPOもあるが、フリースクールの卒業生がサポートステーションに通うケースは少ない。
- 進学・就労（アルバイト含む）など、なんらかの進路が決定してから出ていくケースが多い。
- 年齢等にこだわらず、本人に合ったペースで進路をつくっていけることがフリースクールの利点。
- 進路が決まるまでフリースクールにいれば良いし、アルバイトとフリースクールの併用からスタートする人もいる。
- 一旦卒業した後も、つながりはずっとある。



フリースクールの就労サポート活動

- 仕事体験、面接練習、履歴書作成練習、etc…
- ユニークな生き方、仕事をしている人の話を聞く
- OBOG（卒業生）の話を聞く
- 同年代のメンバーで進路について語り合う

活動づくりのためのミーティングなど
自分で考え、意見を表明し、周囲との関係調整する
活動をフリースクールでは日常的にやっている。
その経験が就労の際に役に立ったという声が多い。

※ミーティングの議題は、来週のイベントから今学期やる講座、日常生活のルールなど、多岐にわたる。

とはいえ、当然課題も...

- 不登校というマイナスの経験を取り戻さねば...
- 働いて（金を稼いで）こそ一人前 → 今の自分は一人前以下
- 〇〇歳になったら、こういう身分を手に入れないと
- 学歴がないと、まともな仕事に就けないのでは？
- 学校に通う事も出来なかったのに、仕事ができるの？

日々、このようなプレッシャーにさらされる中、
働こうと思っても身がすくんでしまう人も当然いる。

具体的な支援の前に、考え方を变える

× 経済活動 → ○ 社会参加

- 「自立」とは依存先を増やすこと
熊谷晋一郎さん（小児科医／東京大学先端科学技術研究センター）
- 「はたらく」って学校に行くより自由・楽しい
- 「はたらく」「学ぶ」「休む」行ったり来たりもOK

労働によって収入を得ることは、
精神的・経済的に豊かな生活を送るための
手段の一つである

おまけ：こんなWEBSITEもあります



東京シュールOBOG100人インタビュー

<http://archive.tokyoshure.jp/30th100/>

まずは、この辺で...

ご清聴ありがとうございました